OrangeRx
GA400F　取扱説明書

GA400FはFutaba FASST方式互換 4ch受信機 です。

【リンク操作】

1. プロポと受信機の距離は50cm以内にして操作を開始します。
2. プロポの電源を入れ、次にGA400Fの電源を入れます。
3. 黒い丸ボタンを2秒以上押し続けます。
4. LEDが点滅したらボタンを離しリンク完了です。
5. プロポ・GA400F共に電源を入れ直し、緑LEDが点灯し正常に動作する事を確認して下さい。

【動作モード選択】

1. 黒い丸ボタンを押したままGA400Fの電源を入れます。
2. 電源を入れると直ぐに下記のように現在のモードをLEDが示し、その後待機状態になります。

［赤点滅］＝ **ノーマルモード**　［赤 + 緑点滅］＝ **ハイスピードモード**

3. 黒い丸ボタンを1秒以上長押しするとモードが変わります。
4. 電源を切って動作モードの変更完了です。

※ 工場出荷時は**ノーマルモード**です。

※ アナログサーボ、未対応サーボが混在している場合、
　一般的なデジタルサーボはノーマルモードで使用してください。

※ ハイスピードモードは対応サーボ使用時のみ選択してください。

【フェイルセーフ】

GA400Fは双葉プロポのフェイルセーフ設定情報を自動取得します。

プロポのフェイルセーフ設定が完了している場合は、何も設定する必要はありません。

TM-7 / TM-8モジュールの場合は、3ch（スロットル）のみ設定可能です。

■設定方法

1. プロポの電源をいれ、スティックをフェイルセーフ位置にします。
2. GA400Fの電源を入れた後、黒い丸ボタンを長押ししてLEDが赤点滅したら離します。
3. スティックを他の位置に移動します。
4. 10秒以内にプロポの電源を切ります。（フェイルセーフ位置に移動するか確認してください。）

禁無断転載・複製 2015.8

【バッテリーフェイルセーフ】

バッテリーフェイルセーフは、プロポ・モジュールに依存します。

お使いのプロポ・モジュール説明書をご確認ください。

バッテリーフェールセーフ電圧は、4セルのNiCd/NiMHバッテリ用に設定されています。

他のタイプの電池を使用した場合、バッテリーフェイルセーフ機能は正しく動作しません。

【出力モード選択】

1. GA400Fの電源を入れます。
2. 黒い丸ボタンを素早く3回押します。(1.5秒以内)
3. LEDが下記の表のように現在のモードを示します。
4. 黒い丸ボタンを短く1回押すとモードが変わります。
5. 黒い丸ボタンを長押し(2秒以上)して、通常の動作状態に戻ります。

LED	赤 点灯 緑 点滅	赤と緑 交互に点滅
出力コネクタ	A モード	B モード
1	1ch	1ch
2	2ch	2ch
3	3ch	RSSI
4	4ch	S.BUS

※工場出荷時は**Aモード**です。

【GA400Fの搭載について】

アンテナの近くに金属等の導電体が無いようにしてください。受信特性に影響を与える可能性があります。

機体がカーボンや金属を蒸着したフィルムなど、導電性の材質でおおわれている場合、

必ずアンテナ部分を機体の外に出してください。

アンテナはモーターやアンプなど、ノイズ発生源からできるだけ離してください。

【電源について】

サーボを最大負荷状態にしても、受信機電圧が3.8V以下にならないように電源を確保して下さい。

2.4GHz受信機は電源の確保が非常に重要です。

Futaba純正やJR純正を含む全ての2.4GHz受信機に起きることですが、

電源不調よる瞬間的な電圧低下でも、受信機の動作が途絶えてしまうことがあります。

すぐに電圧が回復しても、クリスタル式受信機と違い瞬時には回復しません。

2.4GHz受信機は、プロポの信号を捕捉して再動作するまでに数秒かかります。

電圧低下によるトラブルを未然に防ぐため、受信機用コンデンサ(キャパシタ)の併用をお勧めします。

禁無断転載・複製 2015.8